



現実の自分に向き合う

右の人物画をご存じでしょうか？・・・誰もが一度はその人の名を聞いたことがあると思います。

口をへらの字に曲げ、「目玉」をぎょろりと見開き顔を赤らめ、まるで苦虫でも噛みしめたかのような表情・・・初めて知った時には少し驚いたのですが、この人は徳川家康だそうです。

歴史の教科書で見る家康の姿と随分違うので解説を読んでもみると、実は「三方ヶ原の戦い」で武田の軍勢に敗れ、這う這うの体でようやく逃げ帰ってきたそうです。その時の姿を絵師に描かされたそうです。（諸説あります）

この逸話の通りなら、何のためにこんな絵を描かされたのでしょうか？常識的には颯爽とした姿を描かせても良さそうな気がします。

実は、あまりに負け方が悲惨だったため、自分の準備不足を忘れないために描かされたということです。そして、終生、座右として身近に置いたといわれています。

この話を聞いたとき、徳川家康の凄さに触れた気がしました。人の心理として、失敗からは目を背けたい気持ちが働くものです。でも、失敗の中にこそ、自分を見つめなおすカギがあると考えたのだと思います。そして、失敗のままとせず克服の努力をし、克服することで教訓やノウハウを得たのではないのでしょうか。だから家康は自分をごまかすことなく、この絵を通じ、現実の自分と向き合い続けたのではないのでしょうか？

「自分をごまかさず現実と向き合う」言葉では簡単ですが、実行するととなると、なかなか難しいものです。今年度の中学校生活も残り少なくなってきました。家康にならい、今の自分としっかり向き合い、さらに成長できる有意義な時間にしてほしいものです。



3 学期始業式



1月11日（火）令和3年度の3学期の始業式と、生徒会役員任命式を行いました。

校長の式辞の中で、目標をもって物事に臨むことや今年度の残された時間のつかい方の大切さなどの話がありました。3年生は次の進路に向け、2年生は最上級生になるという自覚から、身の引き締まる様子で、話に聞き入っていました。

始業式の後、生徒会役員の任命式がありました。来年度は生徒が一人となりますが、於福中学校の生徒会として、地域への貢献や他校との交流を進めたいなどの決意を発表しました。

一人だからできないこともあるけど、一人だからできることに挑戦したいという決意はとても頼もしく感じました。



台湾水里中学校との交流会 12/16



令和3年12月16日(木)台湾の水里中学校との交流会を行いました。以前までは、相互の国へ訪れての交流を行っていたのですが、コロナ禍の一昨年は中止となりました。せっかく続いている交流を途絶えさせないようにと、各関係機関やお世話役のご配慮で、今回リモートでの交流会となりました。各校の生徒たちが作った紹介文を事前に送りあい、当日は英語を使って説明をしました。好きな動物の話や、日本の文化、美祿市の景勝地や名所を紹介したり、ある日の給食のメニューを紹介したりしました。

その後、お互いに質問をしあいました。こちらでは当たり前と知っていることが不思議に思えたり、日本のアニメについてはとてもよく知っていたりと、交流して初めて分かることもたくさんあり有意義な時間となりました。

早くコロナ禍がおさまって、以前のような交流ができると素晴らしいと思いました。



表彰



上の写真は「人権標語」と「社会を明るくする運動」の応募作文で優秀賞をいただいた表彰の様子です。少ない人数のなか、表彰を受けるのは大変うれしいことです。このような場面を通じ、生徒の自己有用感を高めていく機会をいただけたことに感謝いたします。

2月4日(金)	ALT 来校	14日(月)	小中学校保健安全委員会・学校運営協議会
5日(土)	JRC リーダー研修 (リモート)	18日(金)	ALT 来校
8日(火)	公立高校推薦入試	21日(月)	公立高校出願
10日(木)	公立高校志願登録開始	23日(水)	天皇誕生日 
11日(金)	建国記念の日	25日(金)	ALT・SC 来校、コサージュ作り
13日(日)	大島商船 学力検査	28日(月)	3年生直前テスト

